

一人のアメリカ人が米軍への“オモイヤリヨサン”の疑問に挑む!!

# ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」



日本の経済が困難な状況の中で、なぜ日本人がここまでアメリカ軍を思いやらなければならないのでしょうか？

アメリカとの条約においては一切義務付けられてない「思いやり予算」は1978年から始まり、日本人が自ら働いて支払っている税金から在日米軍へ6兆円以上が投入されてきました。

米兵一人当たり年間1500万円という膨大な額は、ほとんどがアメリカ軍人の贅沢な生活を支援するために使われているのです。この映画では、「思いやり予算」の不条理さと矛盾を様々な視点から鋭く、そしてユーモアたっぷりに日本人に問いかけていきます。

思いやり予算を被? 被災地の支援へ!



そんなに思いやりならフォアグラを食わせればいい



## 知ッテイマスカ?

日本の税金が在日米軍のために使われていることを  
在日米軍家族のための住宅、小・中学校、教会、銀行、ゴルフ場、マクドナルドなどの施設に税金が使われていることを  
電気、水道、ガス料金は使い放題、遊びでも有料道路料金がすべてタダだということを  
米兵による凶悪・暴行事件の賠償金にも使われていることを  
6兆円を超える私たちの税金がすでに使われていることを

監督・編集: リラン・バクレー 日本/カラー/88分/2015年 <http://zaomoiyari.com/>

撮影: 高尾 徹 ヘンリー・バクレー 音楽: ダレン・チルトン

美術製作: 岡田久幸 村永泰 字幕協力: 堀 純司

出演: 松元ヒロ(コメディアン) 山口洋子(思いやり予算を被災地の支援へ!)

呉東正彦(弁護士) 前泊博盛(沖縄国際大学教授) ほか

「ザ・思いやり」事務局 平沢清一 佐藤 契 (Eメール: [zaomoiyari@hotmail.co.jp](mailto:zaomoiyari@hotmail.co.jp))